

教育民生常任委員会

9月10日から4日間、委員会に付託された決算議案8件と陳情1件の審査及び事務調査を行った。

(住民生活課)

焼却施設修繕工事

名和クリーンセンター、中山清掃センターともに、稼働開始から10年以上経過し、老朽化により、2709万円で両センターの修繕工事を行った。

(福祉保健課)

大山賛歌体操の普及員養成講座を年2回実施した。各種教室・イベント等で指導し、普及を図った。ケーブルテレビで毎日2回ずつ放映中。

特定高齢者把握事業

要支援、要介護を除く65歳以上の特定高齢者を生活機能評価により選定し、通所型の介護予防教室に参加してもらう。



大山寺僧坊跡発掘調査

目的別に、運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上、閉じこもり・認知症・うつ予防の教室がある。

ファミリーサポートセンター事業

子育ての手伝いをしてほしい人と手伝いができる人が会員になり、助けあい、子育てしやすい環境づくりを図っている。

(教育委員会)

大山僧坊跡等調査事業

国史跡指定を目的に、発掘調査等を実施した。遺跡の内容、時期等を把握し、保存に向けた基礎資料の作成等を行った。

所子伝統的建造物群保存対策調査事業

所子集落には伝統的建造物が多い。その街並みを残していくため、家屋の保存対策及び、住民説明の基礎資料作成を行った。

中学校施設整備

大山中学校の耐震補強、名和中学校の耐震補強及び大規模改修、合わせて1億3459万円で行った。

教育支援センター

庄内小学校旧校舎を利用し、スタッフ3名で、不登校等の児童生徒の支援を行っている。

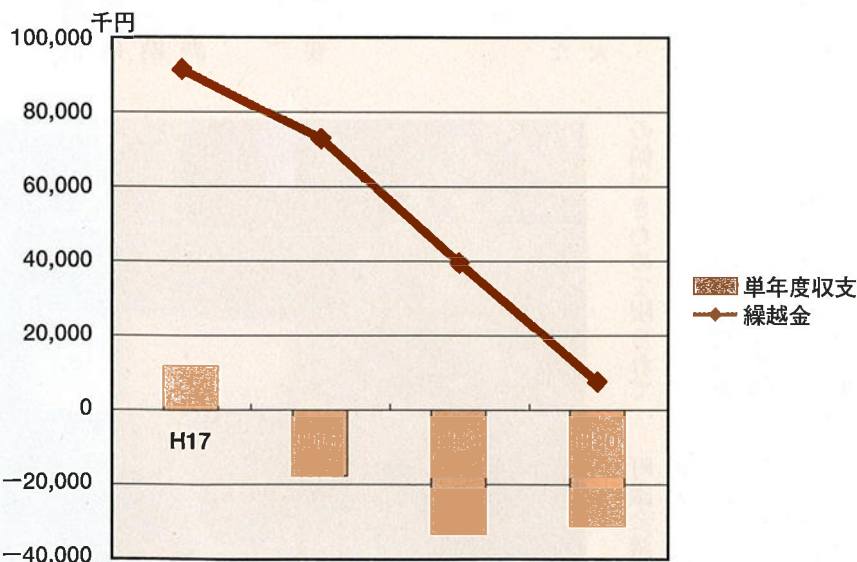
通学合宿事業

小学生が、家庭から離

診療所特別会計の推移

(単位：万円)

	H17	H18	H19	H20
単年度収支	1186万円	△1824万円	△3366万円	△3174万円
繰越金	9114万円	7291万円	3925万円	751万円



合併時には9千万円余りあった繰越金で、平成18年度以降の単年度赤字を補っている。大山口診療所とリハビリセンターの統合による経営の合理化、大山診療所の経営改革による改善が求められる。

れて異年齢での体験活動や、集団生活を行う。自主性ある、たくましい子どもの育成を進めている。

農業者トレーニングセンター

指定管理者制度を導入している。トレーニングセンター等の維持管理により施設の充実を図り、

経費削減に努めている。利用者の声の中に、サービス低下や維持管理面でのクレームが多くなっており、改善が求められている。